

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公表番号】特表2010-511437(P2010-511437A)

【公表日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2009-539480(P2009-539480)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月26日(2010.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下部と、上部と、上記下部と上記上部との間を延びる中間部と、上記下部と上記上部のうちの少なくとも一方から伸び椎骨の棘突起と係合するための 1 対の横壁とを有して、各横壁が骨留め具を受け入れるための孔部を有している、U 字形の植え込み可能な装置と、

上記植え込み可能な装置を上記棘突起に固定するためのねじ付きのボルト及びねじ付きのナットを有する骨留め具とを備えていることを特徴とする、植え込み可能な椎弓間・棘突起間安定化システム。

【請求項 2】

上記横壁の各孔部が皿穴を含んでいることを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

上記 1 対の横壁が上記上部から伸びていて、

該システムが、さらに上記下部から伸びる第 2 の 1 対の横壁を備えていて、上記第 2 の 1 対の横壁の各横壁が骨留め具を受け入れるための孔部を有していることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

さらに、ねじ付きのボルト及びねじ付きのナットを有する第 2 の骨留め具を備えていることを特徴とする、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

上記中間部が圧縮可能であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

上記中間部が、柔軟なヒンジとして機能するように形成されていることを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

上記 1 対の横壁が、互いに相対的に移動可能であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

上記 1 対の横壁が、該横壁が伸びている下部又は上部に対して相対的に移動可能であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

下部と、上部と、上記下部と上記上部との間を延びる中間部と、上記下部と上記上部のうちの少なくとも一方から伸び椎骨の棘突起と係合するための１対の横壁とを有して、各横壁が骨留め具を受け入れるための孔部を有している、Ｕ字形の植え込み可能な装置と、

上記植え込み可能な装置を上記棘突起に固定するための骨留め具と、

該システムの植え込み時に、上記植え込み可能な装置の上記孔部を通して上記骨留め具を挿入するための挿入具とを備えていることを特徴とする、植え込み可能な椎弓間・棘突起間椎骨安定化システム。

【請求項 10】

上記骨留め具が、ねじ付きのボルトとねじ付きのナットとを有することを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

上記横壁の各孔部が皿穴を含んでいることを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 12】

上記１対の横壁が上記上部から伸びていて、

該システムが、さらに上記下部から伸びる第２の１対の横壁を備えていて、上記第２の１対の横壁の各横壁が骨留め具を受け入れるための孔部を有していることを特徴とする、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 13】

さらに、ねじ付きのボルト及びねじ付きのナットを有する第２の骨留め具を備えていることを特徴とする、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

さらに、上記第１の１対の横壁と上記第２の１対の横壁との間に、それぞれ、２つの棘突起を配置するための１対の圧縮ペンチを備えていることを特徴とする、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 15】

さらに、上記挿入具と協働するように形成された締め付け具を備えていて、該締め付け具の回転が上記ボルト及び上記ナットを互いに螺合させることを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 16】

さらに、上記棘突起の骨組織を貫通する穴を穿孔して、上記骨留め具を受け入れるように形成された穴を形成する穿孔具を備えていることを特徴とする、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

上記穿孔具が、上記棘突起から摘出された骨組織を除去して上記穴を形成することを特徴とする、請求項 16 に記載のシステム。

【請求項 18】

上記中間部が圧縮可能であることを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 19】

上記中間部が、柔軟なヒンジとして機能するように形成されていることを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 20】

上記１対の横壁が、互いに相対的に移動可能であることを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 21】

上記１対の横壁が、該横壁が伸びている下部又は上部に対して相対的に移動可能であることを特徴とする、請求項 9 に記載のシステム。